

河川工作物ワーキンググループおよびアドバイザー会議の検討項目および関連事項の経過

資料 8-2

河川工作物の改良を検討するに当たり必要となる河川工作物のサケ科魚類に対する影響評価及びその結果に基づく科学的な立場からの助言を目的として2005年(H17)年6月に設立。委員は中村座長を含む5名。
 (赤字は会議以外の関連事項等)

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2005(H17)年7月(15日)	H17年度第1回会合	<ul style="list-style-type: none"> WGの進め方について 河川工作物の現状把握について H17年度影響評価対象河川の選定について 	<ul style="list-style-type: none"> H17年度に北海道が実施した斜里側11河川のサケ類の産卵状況調査について報告 河川工作物の現状と設置概要等について情報共有
2005(H17)年7月(14日)	第29回世界遺産委員会	世界自然遺産登録	関連勧告事項 サケ科魚類へのダムによる影響とその対策に関する戦略を明らかにしたサケ科魚類管理計画を策定すること
2005(H17)年8月	H17年度第2回会合	<ul style="list-style-type: none"> 影響評価手法の提案について 影響評価に係る調査項目について 	<ul style="list-style-type: none"> WGの目的確認をするとともに、H17年度の影響評価対象河川を6河川とし、全13河川の影響評価は概ね3年とすること、影響評価対象魚種をカラフトマス、シロザケ、サクラマスにオショロコマの4魚種とすること、河川工作物の現状把握について44河川を対象とすることについて確認および検討がなされた。
2005(H17)年9月	H17年度第3回会合・現地検討会	<ul style="list-style-type: none"> 現地検討会(イワウベツ川、ルシャ川、モセカルベツ川、サシルイ川) 意見交換会 	
2005(H17)年12月	H17年度第4回会合	<ul style="list-style-type: none"> 影響評価手法の決定について 影響評価に係る調査結果の報告について 	
2006(H18)年2月	H17年度第5回会合	<ul style="list-style-type: none"> 影響評価手法の一部修正について 流出可能土砂量の評価方法について H17年度対象河川工作物の評価結果について 	
2006(H18)年6月	H18年度第1回会合	<ul style="list-style-type: none"> WGの進め方について H18年度影響評価対象河川の選定について 河川工作物の改良工法の検討について サケ科魚類の遡上効果モニタリング調査方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> H17年度の影響評価において「改良を行うことが適当」と評価した河川工作物10基についての改良工法選択に当たっての基本的な管変え方について検討。
2006(H18)年9月	H18年度第2回会合	<ul style="list-style-type: none"> 現地検討会(アィドマリ川、オショロッコ川、ショウジ川、チエンベツ川、知徒来川、羅臼川) 	
2006(H18)年12月	H18年度第3回会合	<ul style="list-style-type: none"> 河川工作物影響評価調査結果の報告 河川工作物影響評価の中間検討 サケ科魚類遡上効果のモニタリング(案)の検討 	
2007(H19)年2月	H18年度第4回会合	<ul style="list-style-type: none"> 河川工作物影響評価結果の検討 サケ科魚類遡上効果のモニタリング(案)の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 河川工作物の改良効果検証を目的に遡上数、産卵床数、縦横断、礫構成等のモニタリングを行い、遡上率等をもとに専門家の意見を踏まえて改良効果を判断することを決定。
2007(H19)年9月	H19年度第1回会合	<ul style="list-style-type: none"> 現地検討(イワウベツ川、ルシャ川、ポンプタ川) 改良工法の検討 サケ科魚類遡上効果のモニタリングの19年度計画について 	
2007(H19)年11月	H19年度第2回会合	<ul style="list-style-type: none"> 河川工作物影響評価調査結果の報告 河川工作物影響評価の検討 改良工法の検討 遡上状況モニタリング調査結果の報告(赤イ川) 	
2008(H20)年1月	H19年度第3回会合	<ul style="list-style-type: none"> 遡上状況モニタリング調査結果の報告(ルシャ川) 改良工法の検討 改良実施の報告 今後のモニタリングの対応について 	<ul style="list-style-type: none"> 2008年1月末現在、羅臼川の18基を含め25基の改良工事实施中、もしくは実施完了(イワウベツ川3基、ルシャ川2基、サシルイ川2基、羅臼川18基)ダムについて状況報告。 目的を達したことから本WGは終了。

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2008(H20)年2月	IUCN現地視察	調査団への説明資料 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h19/shiretoko_H1902_shiryoy1-2.pdf 調査団の調査結果 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h19/shiretoko_H1902_shiryoy1-1.pdf	・H17年7月の第29回世界遺産委員会における知床に対する決議に基づき、海域管理計画の策定状況や遺産地域の海洋資源の保全の効果、その他の勧告事項への取り組み状況などを評価するための調査団招聘(2月19日から22日までの4日間) ・調査団員はユネスコ世界遺産センター次長のキショール・ラオ氏およびIUCN保護地域事業部長のデビッド・シェパード氏
2008(H20)年7月	第32回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h20/shiretoko_H2001_shiryoy1-2.pdf	関連決議事項 ・遺産地域内におけるサケの自由な移動を推進する対策を継続・加速させるとともに、サケの遡上個体数を増加させること ・遺産地域内のサケ科魚類にとっての重要性に鑑み、モニタリングを進めつつ長期的視野の基に、ルシャ川の河川工作物の改良について、優先的に配慮すること ・河川工作物の改良が、遺産地域内外のサケの個体群の移動に及ぼす影響に特に注意を払いながら、遺産地域内のモニタリング活動を継続・加速させること
2008(H20)年11月	科学委員会地元報告会開催		・大森司委員長および各ワーキング座長参加
2009(H21)年7月	H21年度第1回科学委員会本体会議		・河川工作物フォローアップ会議(仮称)について提案
2009(H21)年9月	H21年度第1回河川工作物AP会議	・平成17～19年度の河川工作物ワーキンググループの活動経過 ・河川工作物の改良の予定 ・遡上モニタリングの結果 ・遡上モニタリングの評価方法の検討	
2010(H22)年2月	H21年度第2回河川工作物AP会議	・平成21年度の遡上モニタリングの結果 ・平成21年度の河川工作物改良状況	・河川工作物WGにおいて改良が適当と判断された13基のダム等のうち、10基改良済み、2基改良工事中、1基来年度改良予定 ・イワウベツ川(赤イ川、ピリカベツ川)、ルシャ川、サシルイ川、チエンベツ川で改良後3年の遡上モニタリングを実施。各河川において、改良前に比べサケ科魚類の遡上が容易となっており、改良の効果を確認。
2011(H23)年1月	保全状況報告書(2008年3月)に対する中間報告提出		定期的な連絡の一環として、勧告への対応状況に関する中間報告を提出。
2011(H23)年1月	H22年度第1回AP会議	・平成22年度の河川工作物改良状況について ・平成22年度の遡上モニタリングの結果について	改良13基のうち12基改良済み、残る羅臼川1基は改良中
2011(H23)年4月	H23年度第1回会議	・河川工作物アドバイザー会議設置要綱について ・平成22年度遡上モニタリング結果と23年度調査予定について ・平成23年度の河川工作物改良工事予定について ・長期的なモニタリング計画について ・今後の会議の進め方について	
2011(H23)年6月	H23年度第2回会議	現地検討会: 羅臼川砂防えん堤改良工事箇所、チエンベツ川魚道設置箇所 ・イワウベツ川支流赤イ川治山ダム改良工事について ・現地検討会の振り返り及び総合討論 ・長期的なモニタリング計画について	
2012(H24)年1月	保全状況に対する本報告提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h23/shiretoko_H2302_shiryoy2-2.pdf	報告の構成 前文 本文: 中間報告に図表、コラムを追加 別添 1: 知床世界自然遺産地域管理計画 2: 知床半島エゾシカ保護管理計画 3: 知床半島世界自然遺産地域 多利用型統合的の海域管理計画 4: 河川工作物の改良結果と効果について 5: 知床生態系維持回復事業計画の策定について 6: 知床五湖における取組み 7: 長期モニタリング計画(案)及び別表

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2012(H24)年1月	H23年度第3回会議	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度遡上モニタリング結果(チエンベツ川・イワウベツ川) 平成23年度河川工作物改良工事結果(羅臼川) 長期的なモニタリング計画 河川工作物WGにおいて改良が適当と判断された13基のうち、12基が改良済みであり、残る1基は改良工事中(来年度完了予定)。	
2012(H24)年6-7月	第36回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/h24/shiretoko_H2401_shiryo2-3.pdf	関連決議事項 ・サケ科魚類の移動と産卵の状況のモニタリングを継続するとともに、サケ科魚類の移動と産卵を確保するために、ルシャ川において、必要に応じて、他の適切な手段を含む河川工作物のさらなる改良を行うことを検討するよう、さらに要請(request) ・資産内のサケ科魚類の移動と産卵の改善及び漁業者とトドの摩擦対応における進捗状況を含めた資産の保全状況報告を、2015年の第39回世界遺産委員会で検討するために、世界遺産センターに2015年2月1日まで提出するよう、さらに要請(request)。
2012(H24)年10月	H24年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> 現地検討会の振り返り 平成24年度河川工作物改良工事(羅臼川砂防えん堤改良工事) 平成24年度遡上等モニタリング調査 長期モニタリング 第36回世界遺産委員会 	
2013(H25)年1月	H24年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度河川工作物改良工事(羅臼川砂防えん堤改良工事) 平成24年度各種モニタリング調査結果 イワウベツ川における遡上モニタリング調査結果 チエンベツ川における遡上モニタリング調査結果 ルシャ川等サケ類の遡上等調査(長期モニタリング)結果 長期的なモニタリング計画 世界遺産委員会決議に関する対応 河川工作物ワーキングチーム進捗状況等について 	今年度中に改良が必要とされた5河川13基のダム改良の終了に伴い、改良したダムの評価等を行うため、河川工作物アドバイザー会議の委員によるワーキングチームを設置し、総括的な取りまとめを実施。今年度中に最終取りまとめを行い、来年度には外部への情報発信
2013(H25)年3月	「知床世界自然遺産地域内で改良した河川工作物の評価」発行		
2013(H25)年10月	H25年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> 現地検討会の振り返り グレーダムの今後の取扱い 長期モニタリングの評価 	
2014(H26)年2月	H25年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の各種モニタリング結果について 長期モニタリング項目の評価について 今後のダムの改良について 世界遺産委員会決議に係る今後の対応について 	改良に伴う防災機能等への全体的な影響が大きいため現状維持と評価した35基について、第2次検討ダムとして今年度から具体的な検討を開始
2014(H26)年5月	検討会の開催(札幌市)	<ul style="list-style-type: none"> ルシャ川ダムの今後の取扱いについて 世界遺産委員会決議に係る今後の対応について 	
2014(H26)年9月	H26年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ルシャ川の取扱いについて 世界遺産委員会決議に係る今後の対応について 長期モニタリング項目の評価について 第2次検討ダムについて 	
2015(H27)年1月	H26年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> 世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について 本年度の各種モニタリング結果について 長期モニタリング項目の評価について 今後のダム改良について 	
2015(H27)年1月	第36回世界遺産委員会に係る保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h26/kasenap_H2602_shiryo1.pdf	

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2015(H27)年7月	第39回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h27/kasenap_H2701_shiryo2.pdf	関連決議事項 ・更に締約国に対し、ルシャ川の3つのダムの影響を十分に緩和するため、地方自治体及び地域住民と緊密に協議しつつ、これらのダムについて完全撤去という選択肢の検討を含む更なる改善を継続すること、また、水面下のコンクリートの除去という選択肢も検討すること、更に、表流水と伏流水の正常な流れを回復させるとともに河川の枝別れや蛇行化を促進することでサケ科魚類の産卵環境を改善させるために、旧孵化場に通じる道路や橋を完全に廃止・撤去することを、強く勧める(urges)。 ・締約国及びIUCNのSCCサケ科魚類専門家グループに対し、現在得られる最善の科学的知見に基づき、最も適切かつ実践可能な解決策に関するコンセンサスを見出すこと、及び、これらの課題に関する助言を行うIUCNの諮問ミッションを招聘する可能性を検討することを勧告する(recommends)。
2015(H27)年10月	H27年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第39回世界遺産委員会の決議について ・ルシャ川の取扱いについて ・長期モニタリング項目の評価について ・第2次検討ダムについて 	座長以外の委員交代により新体制となる。
2016(H28)年2月	H27年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の各種モニタリング結果について ・ルシャ川の取扱いについて ・第2次検討ダムについて ・世界遺産委員会決議に係る今後の対応について https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h27/kasenap_H2702_shiryo4-1.pdf	
2016(H28)年2月	H28年度第1回会議	(1) ルシャ川の取扱いについて (2) 世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h28/kasenap_H2801_shiryo2.pdf (3) 長期モニタリング項目の評価について	
2016(H28)年11月	第39回世界遺産委員会決議に係る知床の保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kaiiki_wg/h28/seawg_H2802_shiryo5.pdf	
2017(H29)年1月	H28年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ルシャ川について(応急対策・シミュレーション・河川路等) ・世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について ・第2次検討ダムの対応について(モセカルベツ川・オッカバケ川) ・H28年度オシロコマ長期モニタリング調査の結果について 	
2017(H29)年7月	第41回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h29/kasenap_H2901_shiryo3.pdf	関連決議事項 ・サケの移動及び産卵の永続的な障害物を除去するための選択肢の更なる議論及び分析が現在進行中であることに留意し、また、ルシャ川の3つの砂防ダムの防災上の便益よりもそれらが資産のOUVに及ぼす影響の方が大きいことを想起し、締約国に対し、資産を可能な限り最も自然な状態に回復するための努力を継続及び強化するよう強く勧奨する(strongly urges)。 ・本件についての更なる助言を提供するために、おそらくはIUCN/SSCのサケ科魚類専門家グループとの合同による、IUCNの諮問ミッションの招聘を検討することについての勧告を改めて表明する(Reiterates its recommendation)。
2017(H29)年9月	H29年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ルシャ川の取扱いについて ・世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について ・長期モニタリング計画について ・第2次検討ダムについて 	
2018(H29)年1月	H29年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ルシャ川の取扱いについて ・第41回世界遺産委員会決議の対応について ・長期モニタリング計画について ・第2次検討ダムについて 	

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2018(H29)年7月	H30年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第41回世界遺産委員会決議の対応について ・長期モニタリングについて ・第2次検討ダムについて ・ルシヤ川の取扱について 	
2018(H30)年11月	第41回世界遺産委員会に係る保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/h30/kasenap_H3002_shiryo1.pdf	
2019(H31)年1月	H30年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第41回世界遺産委員会決議の対応について ・長期モニタリングについて ・第2次検討ダムについて ・ルシヤ川の取扱について 	
2019(R1)年7月	第43回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kaiiki_wg/r01/seawg_R0101_shiryo3-1-1.pdf	関連決議事項 ・ルシヤ川を可能な限り自然に近い状態に再生するという当該国の表明や、3つの治山ダム撤去の選択肢や橋の代替案に関する評価の進捗を歓迎し、本件に関しさらに助言するためのIUCN諮問ミッションを2019年秋に招聘することを評価して留意する。
2019(R1)年7月	R元年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・IUCNミッション招聘について ・長期モニタリングについて ・ルシヤ川の取組について ・第2次検討ダムについて ・第43回世界遺産委員会について ・河川工作物AP会議設置要綱改正について 	
2019(R1)年9月	IUCN諮問ミッション招聘		IUCN/SSG(サケ科魚類専門家グループ)のピート・ランド氏を招聘し、ルシヤ川ダムの改良 及び河床路の現地視察を実施、意見交換を行った。
2020(R2)年1月	R元年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回世界遺産委員会決議の対応について ・長期モニタリングについて ・ルシヤ川の取組について ・第2次検討ダムについて 	
2020(R2)年9月	R2年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回世界遺産委員会決議の対応について ・長期モニタリングについて ・ルシヤ川の取組について ・第2次検討ダムについて 	
2020(R2)年11月	第43回世界遺産委員会決議に係る知床の保全状況報告	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/r02/kasenap_R0202_shiryo1.pdf	
2021(R3)年1月	R2年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回世界遺産委員会決議の対応について ・長期モニタリングについて ・ルシヤ川の取組について ・第2次検討ダムについて 	
2021(R3)年3月	「知床世界自然遺産地域内で改良した河川工作物の評価(令和2(2020)年度版)発行		前回評価から5年経過したR1(2019)～R2(2020)年度に、改良効果を持続的に発揮しているかを検証することを目的として、中村太士教授を座長として8名の委員等をもってワーキングチームを立ち上げ実施したもので、今後の知床世界自然遺産内での河川工作物改良にあたっての参考書として活用できるよう取りまとめた。

年月	会議名および関連事項	検討項目ほか	概要
2021(R3)年7月	第44回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/r03/shiretoko_R0301_shiryo3-1.pdf	<p>関連決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年のIUCN諮問ミッションの勧告に対する当該国の回答に留意するとともに、当該国に以下を奨励する(encourage) a) 河川再生アプローチとオプションに関する現在の理解の強化のために、河川生態系における生物学的変数の代表性を向上させるための対策を講じること b) 河川再生の必要性和漁業関係者の懸念とのより良いバランスをとる方法として、巨大な流木を捕獲するための代替手法の検討 c) 特に侵食、魚類の通行、底生生育・生息地の攪乱に関連して、河床路パイロットプロジェクトの影響を引き続きモニタリングし、影響があった場合には、特定されたいかなる影響に対しても、包括的な科学的理解に基づき、迅速な改善措置を講じること
2021(R3)年8月	R3年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第44回世界遺産委員会決議への対応について ・第2期長期モニタリング計画について ・河川工作物について 	
2022(R4)年1月	R3年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第44回世界遺産委員会決議に係る対応について ・長期モニタリング調査について ・河川工作物の計画・検討について 	
2022(R4)年7月	R4年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第44回世界遺産委員会決議の対応について ・第2期長期モニタリングについて ・河川工作物について 	
2022(R4)年11月	第44回世界遺産委員会決議に係る知床の保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/r04/kasenap_R0402_shiryo1.pdf	
2023(R5)年1月	R4年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・第44回世界遺産委員会決議に係る保全状況報告について ・長期モニタリングについて ・知床世界自然遺産地域管理計画の見直しについて ・河川工作物の計画・検討について 	
2023(R5)年6月	第45回世界遺産委員会	知床に関する決議文 https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kagaku_iinkai/r05/shiretoko_R0501_shiryo3-1.pdf	<p>関連決議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川再生アプローチとオプションに関する現在の理解を強化するため、河川生態系における生物学的変数の代表性を改善するための対策を講じること ・河川再生の必要性和漁業関係者の懸念とのより良いバランスをとる方法として、巨大な流木を捕獲するための代替手法を検討すること ・特に侵食、魚類の移動、底生生物の生育・生息地の攪乱に関連して、河床路パイロットプロジェクトの影響をモニタリングし、必要に応じて、特定された影響に対して、包括的な科学的理解に基づいて迅速な改善措置を講じること。
2023(R5)年7月	R5年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・知床世界自然遺産地域管理計画の見直しについて ・第2期長期モニタリングについて ・河川工作物の改良について 	<ul style="list-style-type: none"> ・知床保全状況報告・回答案及び遺産管理計画の見直し案について内容確認。 ・第2期長期モニタリング計画案についての内容確認。 ・令和5年度オシロコマ生息等調査及びサケ類の遡上数等調査のモニタリング結果報告。 ・ルシャ川、オッカバケ川、イワウベツ川、サシルイ川、羅臼川のダム改良状況報告。
2024(R6)年2月	R5年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産委員会決議の対応について ・知床世界自然遺産地域管理計画の見直しについて ・第2期長期モニタリング計画について ・河川工作物の計画・検討について 	
2024(R6)年7月	R6年度第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産委員会(ユネスコ)への保全状況報告について ・気候変動に対する順応的管理戦略の検討について ・河川工作物の改良について 	<ul style="list-style-type: none"> ・イワウベツ川7号ダムの改良及び3号ダムの改良予定の確認 ・ルシャ川における治山ダムの改良及び河床路の状況の確認 ・世界自然遺産委員会(ユネスコ)への保全状況報告、気候変動に対する順応的管理戦略の検討、ルシャ川・オッカバケ川・イワウベツ川治山ダムの改良、オッカバケ川の橋梁補修工事、サシルイ川治山ダムの改良、羅臼川における対応状況、知床岬地区における携帯電話基地局整備(情報提供)
2024(R6)年11月	第45回世界遺産委員会決議に係る知床の保全状況報告を提出	https://shiretokodata-center.env.go.jp/data/meeting/kasen_ap/r06/kasenap_R0602_shiryo1.pdf	
2025(R7)年1月	R6年度第2回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産委員会決議の対応について(報告) ・気候変動に係る順応的管理戦略について(報告) ・長期モニタリングについて(報告) ・河川工作物の計画・検討について 	<p>長期モニタリングに係る今年度実施調査結果の報告とともに、各河川における河川工作物の改良状況、改良効果モニタリング結果の報告がなされた。</p>